

平成21年度
近畿地区国立大学法人等
職員採用（図書系）二次試験問題

注 意 事 項

1. 問題は**20問（18ページ）**で、解答時間は**2時間**です。
2. この問題は、後ほど回収します。切り取ったり、転記したり、持ち帰ったりしてはいけません。
3. 下欄に第一次試験受験番号、第一次合格通知書番号及び氏名を記入してください。

第一次試験受験番号	第一次合格通知書番号
氏名	

指示があるまで中を開いてはいけません

【No.1】

次は、目録規則に関する説明である。それぞれについて該当する規則名をAからEまでの中から選んで記号で答えなさい。

- (1) 『大英博物館刊本目録』第1巻の冒頭に付されたアルファベット順目録規則である。特定図書の検索を目的としたもので、近代目録法の始祖ともいえる。
- (2) 電算機の導入や国際標準化の具体化により、1967年版の改訂版として1978年に刊行された。記述と標目の2部からなり、記述を先にしている。
- (3) 初版は冊子体目録用だが第2版以降はカード目録も対象とした。件名記入関係の規程を持つ。後の目録規則の最大の模範となった。
- (4) アルファベット順目録規則。団体記入を認めず団体著作を書名基本記入にする。書名記入の排列を、書名中の最初の名詞を第1の排列語として行う。
- (5) アメリカのスミソニアン協会の職員が集中目録作業用に策定した記述、標目、参照、排列の順の規則。記述を先に規定している点が注目される。

A：英米目録規則 第2版（AACR2）

B：パニッツィの91カ条規則

C：プロイセン目録規則

D：ジュエットの目録規則

E：カッターの辞書体目録規則

【解答欄】

- (1) (2) (3) (4) (5)

【No.2】

次は、図書館協力について記述したものである。(1)～(5)に該当する語句を答えなさい。

図書館協力に関する取り組みはコンピュータ・ネットワークの進展とともに発展をみえてきた。とりわけ、複数の図書館がもつ目録のデータをまとめ、書誌情報と所在情報を表示する(1)のデータベースと、それにもとづく資料の相互利用・相互貸借は図書館協力の大きな要素となっている。

後者の相互利用・相互貸借は、アルファベット3文字の略称として(2)と呼ばれる。コンピュータ・ネットワークのもとで(1)と(2)を統括する組織は一般的に(3)と呼ばれ、世界の各国・各地域で様々な組織が設立されたが、現在では米国に拠点を置く(4)が他組織との合併を進め、世界最大の(3)と位置づけられる。

上記のようなものに加え、近年では地域や主題分野、あるいは館種によって範囲を定めて、テクニカル・サービスや直接サービスの面で協働を図る図書館連合組織の設立の動きが国内外で盛んである。このような組織を図書館(5)と呼ぶが、なかでも日本では外国雑誌の契約にかかる交渉力の強化が(5)結成の一因となっている。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

【No.3】

次は、わが国のデータベースの特徴を記述したものである。(1)～(4)のデータベース名を答えなさい。

- (1) 日本国内の学術雑誌・紀要・専門誌・一般誌に収録された論文・記事，論文集（書籍）に収録された論文の検索が可能。検索を含め利用は有料。
- (2) 現在，日本国内で販売されている書籍のデータを無料で検索できる。かつて冊子体および CD-ROM として発行されていた『日本書籍総目録』のウェブ版と位置づけられる。
- (3) 『世界大百科事典』をベースとする百科事典データベース。検索を含め利用は有料。
- (4) 国内外の科学技術分野，医学・薬学・看護分野の論文等につき，書誌データや抄録データを収録したデータベース。シソーラスを用いた検索も可能。検索を含め利用は有料。なお，現行の法人向けデータベース名を解答すること。

【解答欄】

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

【No.4】

次に掲げるのは英語の略称である。それぞれにつき、英語での正式の名称を答えなさい。

- (1) IFLA (2) WIPO (3) DOI (4) ISO

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

【No.5】

次は、図書館資料の保存について記述したものである。(1)～(6)に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。

図書館資料の保存に関しては、大きく2つの考え方が存在する。ひとつは(1)で、損傷劣化した資料に製本・補修等の手当てを行い利用可能とすること、また損傷劣化を予防する手当てを施すことを指す。もうひとつは(2)で、(1)に加え保管環境の整備、災害対策、職員・利用者への教育など、保存の方策を総合的に実施することを意味する。(1)を(2)の中にしっかり組み入れることが、資料保存にとって大切なことと言える。

(2)の一環として資料の保存状態の調査が様々な図書館で実施されている。ここで、蔵書全体の状態を効率よく把握するために(3)調査が行われる場合があるが、その際は統計学的手法をよく理解しておく必要がある。一方、蔵書数があまり多くなければ(4)調査を行い、手当てが必要な資料を直接同定することも可能である。

資料の状態だけではなく、保存のための環境整備にも目を向ける必要がある。例えば照明については(5)の影響が少ない機器の配置が求められる。また、近年では虫害について建築や館内設備など環境面から包括的な対策を講じる(6)という考え方も浸透しつつある。

- | | | | |
|-------------|--------|-------------|---------|
| a. 悉皆 | b. IPM | c. プリザベーション | d. 質的 |
| e. エミュレーション | f. 導線 | g. コンサベーション | h. サンプル |
| i. マイグレーション | j. EAD | k. 紫外線 | |

【解答欄】

(1) (2) (3)

(4) (5) (6)

【No.7】

次は、図書や雑誌の判型を示す規格である。大きいものから順に並べなさい

1. B5判
2. A6判
3. 四六判
4. 菊判
5. タブロイド判

【解答欄】

() → () → () → () → ()

【No.8】

以下は、各図書を「日本十進分類法新訂9版」に基づき、第3次区分表（3桁）で分類したものである。□に該当する数字を答えなさい。

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 「いま哲学とは」 | 1 0 □ |
| (2) 「英文法詳解」 | 8 3 □ |
| (3) 「在りし日の歌：中原中也詩集」 | 9 1 □ |
| (4) 「Earth science」 | 4 □ 0 |
| (5) 「ケインズ『一般理論』の形成」 | 3 □ 1 |

【解答欄】

(1) (2) (3) (4) (5)

【No.9】

次は、学術雑誌の編集について記述したものである。(1)～(4)に該当する語句を答えなさい。

学術雑誌の編集にあたって考慮すべき課題は多いが、そのひとつに論文の査読の方法がある。査読において通常は投稿者に査読者の名前は知らされないが、査読者には投稿者の名前や所属等が分かる方式を(1)と呼ぶ。他方、査読者にも投稿者の名前などを明かさない方式を(2)と呼ぶ。(2)のほうがより公正な査読を担保する、と言われる一方、大学院生など若手研究者が投稿する場合には査読者に指導的役割を期待する、ということで(1)が望ましいとする意見もある。ごく少数の学術雑誌の事例ではあるが、投稿者と査読者の名前だけでなく、互いのやり取りも公開するという試みも見られる。

論文の妥当性に関する新たな論点として(3)が近年浮上している。これは私企業から得た補助金に基づく研究成果に関し、当該企業に都合の悪い点は論文の中に反映されなくなるおそれがある、といったことであり、この点への注記を学術雑誌の投稿規定に記載する必要性が増している。

また、研究成果が知的財産として意識される現状において、(4)に関して論文投稿者に注意を促すことも必要となる。なぜなら、(4)の出願前に発明を論文として公開した場合は、原則として、当該の発明は(4)としての保護を受けられなくなるからである。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

【No.10】

次は、国立国会図書館が提供する情報源について記述したものである。(1)～(4)について、正しいものには○を、正しくないものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) Dnavi は、国立国会図書館の職員が調べものに有用であると判断した図書館資料、ウェブサイト、各種データベース、関係機関情報を、特定のテーマ、資料群別に紹介するものである。
- (2) レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が、全国の公共図書館、大学図書館、専門図書館等と協同で構築している。このデータベースでは、各図書館のレファレンス事例や、各図書館が作成した調べ方マニュアルの検索が可能である。
- (3) 日本全国書誌は、わが国における全国書誌としての役割を果たすため、国立国会図書館が収集整理した出版物について、標準的な書誌情報を編集し、広く国の内外に速報するものである。現在では冊子体としての刊行は行っていない。
- (4) 国立国会図書館デジタルアーカイブポータルは、国内各機関が公開するデジタルアーカイブを統合検索するシステムである。ここでは、国立国会図書館が作成したもの以外のデジタルアーカイブも検索対象に含まれている。英語での略称は WARP である。

【解答欄】

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

【No. 11】

次は、引用について記述したものである。(1)～(5)に該当する語句を答えなさい。

論文の引用関係は、論文の注目度や位置づけを測る指標として機能する。研究活動と引用との関係に注目した(1)という人物は、引用頻度に着目した索引誌の刊行を開始した。このなかで雑誌ごとに掲載論文の引用頻度を測る(2)という指標が考案され、今日では研究者や学術出版社ら関係者に広く認識されているが、(2)を過度に気にするあまり研究成果の正当な評価が妨げられるのではないかと、という危惧の声も聞かれる。現在では(1)による索引誌を母体とし、さまざまな学問領域においての(2)のデータを雑誌ごとに示す(3)というデータベースが運営されている。

他方、近年は Google 社のサービスの一環として、同社が独自に引用関係を測定し提示する(4)が無料で利用できる。もっとも、(4)における引用関係の把握はどれだけ正確かについて、図書館員らによる検証も成されているところである。

なお、こうした引用関係の把握には、引用文献・参考文献リストの書式の標準化が大きく寄与すると言える。もっとも、英語での国際的な学術雑誌であっても、実際には雑誌や学問領域によって様々な標準が併存している。日本の場合、こうした標準化自体がなかなか進まなかったが、科学技術振興機構が引用文献・参考文献リストの書式に関する標準を策定・公表している。この標準は、アルファベットと数字による略称として(5)と呼ばれている。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

【No. 12】

次は、日本の著作権法の条文を一部抜粋したものである。(1)～(5)に該当する語句を答えなさい。

第二条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一 著作物 思想又は感情を(1)に(2)したものであつて、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう。

十一 (3)著作物 著作物を翻訳し、編曲し、若しくは変形し、又は脚色し、映画化し、その他翻案することにより創作した著作物をいう。

第十二条 編集物((4)に該当するものを除く。以下同じ。)でその素材の選択又は配列によつて(5)を有するものは、著作物として保護する。

第十二条の二 (4)でその情報の選択又は体系的な構成によつて(5)を有するものは、著作物として保護する。

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

【No.13】

以下は、ある図書館サービスの説明である。このサービスを何と読んでいるか書きなさい。

「この言葉は新しく、1983年刊の *ALA glossary of library and information science* で初めて『図書館サービスが全く及んでいない特定の集団の情報ニーズを満たす目的で、開発され企画されたサービス』と定義づけられた。この場合、＜特定の集団＞というのが重要で、図書館空白地帯への図書館設置、単なる移動図書館サービスの提供などは、このサービスに入らない。公立図書館サービス・エリアの中に存在しながら、サービスを楽しんでいない、あるいはサービスを楽しめない＜特定の人びとの集団＞へのサービスをいう。」

【解答欄】

【No.14】

下記の事項は、国立情報学研究所（NII）の沿革に関する事項であるが、5つの出来事を歴史的に古いものから順に並べなさい。

1. 目録所在情報サービスの開始
2. 情報検索サービスの開始
3. 学術情報センターの設置
4. 東京大学文献情報センターの設置
5. 東京大学情報図書館学研究センターの設置

【解答欄】

() → () → () → () → ()

【No.16】

ある検索システムについて、以下のような符号を用いることができる、とする。

- ・ 前方一致，後方一致：*
- ・ 完全一致：/ （ことばの前後にはさむ。 例：/日本史/）
- ・ 論理積：& ・ 論理和：+ ・ 論理差：－

この場合，（１）～（５）の要求を満たすために，どのような検索式を検索システムに入力すればよいか。例にならって答えなさい。なお，ここでの検索式はすべて「書名」の欄に入力するものとする。また，ことばと符号の間は詰めて記入すること。

例：library, libraries, librarian, librarians を書名に含む文献を調べる。

→（解答）librar*

- （１）「日本」と「農業」をともに書名に含む文献を調べる。
- （２）書名が「世界の経済事情」に一致する文献を調べる。
- （３）書名に「プロ野球」を含み，かつ「ドラフト」を含まない文献を調べる。
- （４）「繊維強化プラスチック」「熱可塑性プラスチック」「半合成プラスチック」といった書名を含む文献を調べる。
- （５）AIDS, HIV, エイズ，後天性免疫不全症候群のいずれかを書名に含む文献を調べる。

【解答欄】

- （１）
- （２）
- （３）
- （４）
- （５）

【No.17】

次は、特定の情報源に関する記述である。(1)～(3)のそれぞれに該当する情報源の名前を答えなさい。

- (1) The most complete collection of words and their definitions in the English language as spoken throughout the world. It is also the leading authority on word origins and the evolution of the English language over the past 1,000 years. It is available in print, on CD-ROM, and online.
- (2) Electronic version of Chemical Abstracts providing access to scientific journals and patent references. Also includes substance records and CAS registry numbers.
- (3) An electronic journal site for Japan's academic societies. It is provided by the Japan Science and Technology Agency.

【解答欄】

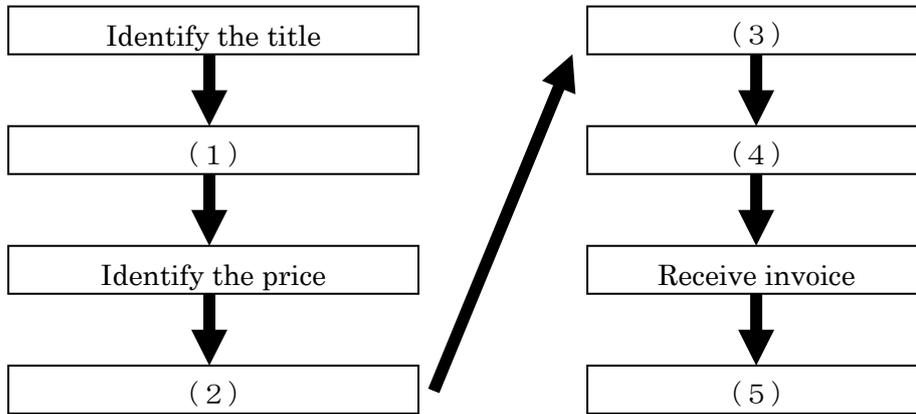
(1)

(2)

(3)

【No.18】

次は、図書館で図書を購入する過程を示したものである。(1)～(5)に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。



- a. Submit order
- b. Submit payment
- c. Verify the bibliographic data
- d. Receive the material
- e. Assess availability

【解答欄】

(1) (2) (3) (4) (5)

【No.20】

次は、米国の「高等教育における情報リテラシー能力基準 (Information Literacy Competency Standards for Higher Education)」から抜粋したものである。この文章の主旨と合致しているものをすべて下から選んで記号で答えなさい。

Information literacy is a set of abilities requiring individuals to “recognize when information is needed and have the ability to locate, evaluate, and use effectively the needed information.” Information literacy also is increasingly important in the contemporary environment of rapid technological change and proliferating information resources. Because of the escalating complexity of this environment, individuals are faced with diverse, abundant information choices--in their academic studies, in the workplace, and in their personal lives. Information is available through libraries, community resources, special interest organizations, media, and the Internet--and increasingly, information comes to individuals in unfiltered formats, raising questions about its authenticity, validity, and reliability. In addition, information is available through multiple media, including graphical, aural, and textual, and these pose new challenges for individuals in evaluating and understanding it. The uncertain quality and expanding quantity of information pose large challenges for society. The sheer abundance of information will not in itself create a more informed citizenry without a complementary cluster of abilities necessary to use information effectively.

Information literacy forms the basis for lifelong learning. It is common to all disciplines, to all learning environments, and to all levels of education. It enables learners to master content and extend their investigations, become more self-directed, and assume greater control over their own learning. An information literate individual is able to:

- Determine the extent of information needed
- Access the needed information effectively and efficiently
- Evaluate information and its sources critically
- Incorporate selected information into one’s knowledge base
- Use information effectively to accomplish a specific purpose
- Understand the economic, legal, and social issues surrounding the use of information, and access and use information ethically and legally

- a. ここでの情報とは図書館で入手できるものに限定している。
- b. 情報リテラシーは高等教育での段階でのみ重要と位置づけている。
- c. 情報の利用にかかわる倫理的側面も情報リテラシー能力の一環としている。
- d. 情報の真正性・妥当性・信頼性が疑わしい場合があるとしている。

【解答欄】